

2025 年度 公益充実資金公開情報

公益財団法人伊藤謝恩育英財団「公益充実資金取扱規程」第 7 条に基づき、公益充実資金について以下の通り公表する。

入学一時金増額費用準備金

コロナ禍で経済的に厳しい状況に置かれた新奨学生に 1 人あたり入学一時金を 10 万円増額するための公益充実資金であり、その財源はコロナ禍で事業を行うことができなかった剰余金で賄っている。2023 年度から 5 年間とする暫定的措置である。

資 金 の 名 称	入学一時金増額費用準備金
内 容 ・ 目 的	2023 年度からの 5 年間、入学一時金として 1 人あたり 40 万円を支給するため（10 万円の増額）
対 象 者	2023 年度新奨学生から 2027 年度新奨学生 各年度 45 人（大学生 40 人、大学院生 5 人）
実 施 時 期	2023 年度～2027 年度
積立時期（期間）	2022 年度決算時（2023 年 3 月 31 日）
積 立 限 度 額	2,250 万円
算 定 根 拠	年間 45 人 X 増額分 10 万円 X 5 年間 = 2,250 万円
期 首 残 高	1,350 万円
当 期 積 立 額	0 円
当 期 取 崩 額	480 万円（2025 年度新奨学生 48 名）
期 末 残 高	870 万円

35 周年記念事業実施費用準備金

創立 35 周年の記念事業実施費用に充てるための公益充実資金である。

資 金 の 名 称	35 周年記念事業実施費用準備金
内 容 ・ 目 的	創立 35 周年を記念し、特別講演会等の研修会を実施するため
実 施 時 期	2029 年度
積立時期（期間）	2025 年度～2028 年度の 4 年間
積 立 限 度 額	3,000 万円
算 定 根 拠	30 周年記念実施費用準備金として 3,000 万円の積立を行い、目的を達成できたので 35 周年記念事業実施費用準備金も同様の金額を積立てる。3,000 万円を超える費用は、実施年度の収入を充てる。
期 首 残 高	—
当 期 積 立 額	750 万円
当 期 取 崩 額	0 円
期 末 残 高	750 万円